

## 武蔵大学 AI の社会浸透研究会 機械学習の業務活用をテーマに、第 1 回公開セミナーを開催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）AI の社会浸透研究会※は、10月18日(水)に AI の社会浸透研究会第 1 回公開セミナーをオンラインで開催します。

機械学習を用いたシステムは AI システムとも呼ばれ、第 3 次 AI ブームの到来とともに企業をはじめとした多くの組織でその開発が進んでいますが、数多くの技術的な課題があります。AI の社会浸透研究会ではそのような AI の社会実装における諸問題のうち、機械学習システムの開発プロジェクトに焦点をあて、機械学習の業務活用などに興味のある方向けに第 1 回公開セミナーを企画しました。プロジェクト管理やシステム設計の観点から第一線で研究を進めていらっしゃる専門家 2 名に、実務家向け講演を行っていただきます。

※AI の社会浸透研究会とは、人工知能(AI)の社会浸透に関わる諸問題に多角的なアプローチで研究する活動を支援することを目的として武蔵大学内に設立された研究会です。

### 概要

■日時 2023年10月18日(水) 16:30-18:45

■場所 オンライン (Zoom 開催) ※参加費無料

■お申込み: <https://musashi-sigspai.connpass.com/event/296226/>

### ■プログラム

16:30 挨拶 竹内 広宜 教授 (武蔵大学 AI の社会浸透研究会代表)

16:30-17:30 講演 1 (内平直志 教授) と質疑応答

17:30-17:40 休憩

17:40-18:40 講演 2 (鷲崎弘宜 教授) と質疑応答

18:40-18:45 まとめ 竹内 広宜 教授

### ■講演 1: AI システム開発のプロジェクトマネジメント(内平 直志 教授/北陸先端化学技術大学院大学)

AI システム、特に機械学習システムの開発は、従来の IT システム開発にはない様々な難しさがあります。本講演では機械学習システム開発におけるプロジェクトマネジメントの特徴、難しさを整理するとともに、具体的な企業の取り組み事例（生産設備の予知保全、画像による欠陥検知、ネットサービスにおける UI 最適化、電力需要予測）を通じて、困難を乗り越えるためのポイントを説明します。

### ■講演 2: 機械学習システムの設計とデザインパターン(鷲崎 弘宜 教授/早稲田大学)

効果的かつ効率的な機械学習システム開発運用に向け、機械学習モデルやシステム全体の品質上の良い設計の指針、さらには開発運用のあり方の整理と共有が必要です。機械学習デザインパターンは、そうした指針を再利用しやすいように、データの表現やモデルの構築、訓練、運用において頻出の問題と解決策をまとめたものです。本講演では機械学習システムの設計において段階的に品質を組み入れる設計のプロセスや、そこで有用なデザインパターンの全体像ならびに主要パターンを解説します。特に Google Cloud データ分析トップ Lakshmanan 氏らがまとめた『機械学習デザインパターン』（講演者ら訳、オライリージャパン、2021）と、それらへの追加として講演者らが整理した『Software-Engineering Design Patterns for Machine Learning Applications』（講演者ら著、Computer、2022）を取り上げます。

### —内容に関するお問い合わせ先—

AI の社会浸透研究会 [sigspai-staff@u.musashi.ac.jp](mailto:sigspai-staff@u.musashi.ac.jp)

### —報道関係者お問い合わせ先—

武蔵大学広報部 担当：増田・西（ますだ・にし） | [pubg-r@sec.musashi.ac.jp](mailto:pubg-r@sec.musashi.ac.jp)

---

## ■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開校され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開校、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開校し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

